

## 国立大学法人島根大学役員会（第357回）＜議事要録＞

日時 令和2年10月6日（火） 14:00 ～ 15:25  
場所 本部棟3階 特別会議室（TEAMS 利用）  
出席者 服部学長，藤田理事，秋重理事，荒瀬理事，井川理事，長澤理事，宮脇理事，  
上野理事  
オブザーバー 千家監事，栗原監事  
欠席者 なし  
〔陪席：企画部長，教育・学生支援部長，総務部長，財務部長，医学部事務部長，  
自然科学系事務部長，企画広報課長，教育企画課長，総務課長，財務課  
長，監査室長〕

### 議題1 令和2年度研究推進に係る研究支援事業要項の一部改正について

- 秋重理事から令和2年度研究推進に係る研究支援事業要項の一部改正について説明があった。
- 千家監事から要件を緩和したことによりどのくらい実績があがるのか確認があり，秋重理事から要件を緩和したうえで3件程度の採択を見込んでいるとの回答があった。
- 長澤理事から事前に研究推進室が調査し，外部研究資金を獲得できそうな業績をあげている教員に応募を促し，研究費を支援して業績を積み増す制度の趣旨は理解できるが，外部研究資金の応募時期まで継続した研究支援が必要ではないかとの意見があった。
- 次年度以降の制度設計については，改めて検討することとして，原案どおり議決された。

### 協議事項1 定期モニタリングの実施について（勤務時間の管理体制）

- 藤田理事から定期モニタリングの実施について（勤務時間の管理体制）説明があった。
- 学長から出入管理システムの運用状況について確認があり，総務部長から昨年の4月に出入管理システムを導入し，昨年は教員が7割，事務職員が9割程度の打刻率であった。今年4月からは就業管理システムを導入したことに伴い，打刻と給与計算が連動するため，松江地区出雲地区ともほぼ100%の打刻率であるとの回答があった。
- 長澤理事から教員の勤務時間については，研究に対する特有の事情も勘案した検討が必要ではないかとの意見があった。

### 報告事項1 国立大学法人等における剰余金の翌事業年度への繰越しに係る承認について

- 長澤理事から国立大学法人等における剰余金の翌事業年度への繰越しに係る承認について報告があった。

### 報告事項2 令和2監査年度 監事監査計画

- 千家監事から令和2監査年度の監事監査計画について報告があった。

### 報告事項3 令和2年度前期資金運用報告について

- 長澤理事から令和2年度前期資金運用報告について報告があった。

#### 報告事項4 令和3年度概算要求の概要について

- 長澤理事から令和3年度概算要求の概要について報告があった。
- 栗原監事から国立大学法人の予算要求の仕組みについて確認があった。
- 宮脇理事から全国の小中学校に配付されるタブレットは chromeOS のシェアが拡大し、教員が使い方がわからないという問題が発生しており、chromeOS で教育を受けた子どもたちが小中学校から高等教育へあがってくるため、小中学校での授業の課題を注視しておく必要があるとの意見があった。

#### 報告事項5 早期退職の募集について

- 藤田理事から早期退職の募集について報告があった。
- 千家監事から議案概要説明書の2.概要のなお書きにおいて、翌年度以降は学長決裁をもって本件を行うとしていることについて、来年の通常国会で定年延長が審議される見通しであり、全体が変わってくる可能性があるため、もう少し様子を見てはどうかとの意見があった。藤田理事から議案概要説明書の2.概要のなお書きは削除するとの回答があった。

#### 報告事項6 附属病院運営状況について

- 井川理事から附属病院運営状況について報告があった。

#### 報告事項7 第184回教育研究評議会の議題等について

- 学長から第184回教育研究評議会の議題等について報告があった。
- 学長から報告事項3「地方創生に資する地方国立大学の機能強化について」は協議事項に変更するとの説明があった。

#### 報告事項8 国立大学法人島根大学学長選考会議規則の一部改正について

- 藤田理事から国立大学法人島根大学学長選考会議規則の一部改正について報告があった。

最後に上野理事からコロナ禍において移動やフィールドワークに対する制限がある状況ではあるが、地域貢献に尽力してほしいとの意見があった。